

基本構想・基本計画原案市議会議員意見概要(平成24年10月29日)

資料6

No	章	指摘項目	市議会意見	市回答	備考
1		まちの現状認識と課題	「まちの現状認識と課題」で放射線の被害については書かれているが、放射線の測定といった対策についての記述がない。記述しない主な理由は。	現在市の方でも順次対応を進めていることであり、現時点で落ち着いているため、この計画では記載等取り扱わない方向である。	
2	2章	循環型社会	「(3)再生可能エネルギー施策への取組」でバイオマスの表現があるが、水力については触れられていない。青梅にとって水力は有力だと思うが、水力は難しいという判断なのか。	小水力も青梅の地域特性の中で踏まえて、導入の検討を進めていくということは考えている。	
3	6章	社会保障	「現状と課題」で素案の段階では人数や金額が具体的に入っていたが原案ではなくなっている。人数・金額がある方がイメージをつかみやすいと思うが、その点については。	人数等の詳細については、事業計画等で明記する。この部分では他の制度との書き方の整合性を図るため、ここでは触れない形にしている。	
4	7章	農業・林業	「(6)林業の振興」で、適切な森林管理がなされていることを認証する制度がいくつかあり、森林を所有している自治体では積極的に認証を受けるところもある。例えばドイツに本部がある森林管理協議会の認証制度があり、適切に森林が管理されていて、品質も確かであると証明されているなどの取組がある。そういった森林管理の認証を目指す取組はできないのか。	現在のところ、森林の管理に関しての認証制度等については検討していない。	
5		その他	パブリックコメントが39件あったが、何人からの意見があったのか。その意見についてどのように取り入れられているのか。公表はどのように考えているのか。	2回目のパブリックコメントについては、39件で39人。いただいた意見については、10月17日の締め切りであり、この原案には反映されてはいない。最終的な推敲ということ踏まえて、最後の審議会で報告する中で考え方を示したい。また、対応についての公表については、議決後になるが考え方をまとめ、公表を予定している。	
6		財政見直し	「財政見直し」の説明で、国保、下水道、保育料など、平成25年度から2年ごと5%ずつ改定するとのことだが、この10年の計画期間でどれだけ市民の負担が増えてしまうのか。景気が低迷し市民の暮らしが大変な中で、市の財政も大変なものわかるが、市民が納得できないのでは。	ご意見として承る。あくまで試算の中のことであり、一定の改定を見込んでなお今後10年間で100億円の収支の乖離が生じている。今後、社会保障と税の一体改革なども想定される中で、現行制度にもとづいて一定の改定を見込まないと青梅市の財政が非常に厳しいところにある現状をご理解いただきたい。	
7	3章	学校教育	「現状と課題」で、子どもの貧困やいじめの問題など子どもの状況にも厳しいものがあるということを記述してほしい。そして基本施策で(8)として、父母負担の軽減、就学援助、通学費補助など安心して教育を受けられるようにすることを追加してはどうか。	子どもの貧困については、従前から就学援助制度等により支援をしている。いじめ問題については、最近特に大きな問題となっているが従前から引き続いている問題であるということ取り扱わせていただく。	

No	章	指摘項目	市議会意見	市回答	備考
8	8章	道路	「道路」について、市内には生活道路が劣悪なところが沢山ある。青梅市には「私道整備に関する規則」があるのに財政が大変なのでということで対応していない。市民が安全・安心して生活するためには、規則に沿って整備する必要があるため、基本施策に「私道の整備」を入れてはどうか。	財政状況が厳しい中、市道の整備を進めている現状であり、今回はこのような記載としている。	
9		総論	この原案は、これまで審議会で様々な論議がされて、議会の意見を取り込み、パブリックコメントで広く市民の声を聴き、その他にも色々な意見や想いを伺って集約した結果であると捉えている。そのような中で青梅市の特性、短所、長所を明らかにした上で、このことを生かしながら、あるいは克服していこうという姿勢が感じ取れる。基本計画としては、これからの10年間を見据えた一定の方向性が示されたものと理解しており、あまり詳細に具体的に表現すると状況の変化に対応できない面もある。具体的な施策は実施計画が今後策定されるので、そこを充実していけばいいと思う。 5次の計画ではチャレンジプログラムという横断的な取組があった。今度はふらっとフォームという、新たな横断的な取組を入れているが、縦割りや、やはり縦割りだと思ふ。市民との協働などに取り組むとなると非常にエネルギーを使う。これまで、文化など地域資源を点ではなく面で、地域振興・観光振興に結び付けてはと提案してきたが、この基本計画を実施していくに当たって、横断的に取り組むことが必要な課題に対して、組織自体を最初から対応できるように変更してはどうか。近隣他市では地域振興課のような組織があるようだが、現行の組織では例えば地方分権にも十分な対応を図りきれないと思ふ。厳しい財政状況の中で、限られた職員数でやりくりをしていくことについてはどう考えているのか。	推進に向けた組織の考え方については、12月議会で議決をいただいた後に、新たな組織・機構の体制については、現在の機構、部局のあり方、部・課のあり方、横断的なもののあり方、従来の譲り合う組織から奪い合うような組織に関して平成25年度の中で検討していく。例えば、安全・安心では、防災、予防、医療、福祉の面があるが、横串を刺せる組織のあり方などについて検討した上で、仕事を譲り合うではなくお互いに補完しあう、前に向けて進めるような組織体を目指して検討していきたい。	
10		財政見直し	「財政見直し」について、予算・決算の審議を通しても先行きが分からず、政権もどうなるかわからない状況においては、現行制度のもとで分かり得る範囲の財源と、義務的な支出を抑えていって順次修正をしていくしか方法がないと思ふが、いずれにしても堅実な財政運営にあたらざるを得ないが、こういう考え方を盛り込んでの推計かどうか。	ご指摘のとおりであり、10年間の長いスパンを見込む中で、現行の財政制度を基本に計画を策定し、掲載させていただいた。	

No	章	指摘項目	市議会意見	市回答	備考
11		財政見直し	「財政見直し」について、一般会計では経費削減を図る、国民健康保険では応分の負担、収益事業では経費削減、下水道では適正な負担を求めていく、介護保険は収納率を上げる、病院事業も経費節減としており、お金が入ってきそうなものが収益事業の売り上げ向上ぐらいしかない。今後は市税だと思うが、各論で色々と施策を掲げているが、この財政見直しの中でも市税を増やすための前向きに税収を上げていくような表現があった方がよいのでは。	指摘の点は検討させていただく。目標人口を設定している中で税収については大きな課題であり、税源のかん養等長期的な展望の中で市税の増収策についてこちらに掲載するか検討していく。	
12		財政見直し	ストックマネジメントの計画において、修繕費に毎年20億円かかると記載があったが、それは検討するというので財政見直しの中には入っていないのか。インター周辺の整備に関する固定資産税について、財政見直しの中に入っているのか。投資的経費にケミコン跡地のことが財政見直しの中に入っているのか。	ストックマネジメントについては、財政見直しの中では毎年5億円を見込んでいる。インター周辺の固定資産税は財政見直しの中で見込んでいない。ケミコン跡地については、計画について具体的なところが固まっていないことから財政見直しの中に数字として盛り込んでいない。	
13		財政見直し	収支が124億円のマイナスとなっており、プラスに向けてどうするかということが政策の進め方であると理解する。身の丈のあった財政運営で、市民への財政のわかりやすい公表とあるが、公会計のことも含めて10年間で取り組んでいくということが入っているのか。それであればストックの情報が入っていないとおかしいのでは。	ストックの関係で直近のものがすぐ出せない状態だが、様々な情報公開を考えている中にストックも含まれている。	
14		財政見直し	財政見直しは厳しいとのことだが、ストックマネジメントで20億円かかるものを年間5億円で見積もったとのこと、ケミコン跡地も入っていない。今後、市が負担する大きなものが盛り込まれていない。そうするとこの財政見直しは甘いということにならないか。	ケミコン跡地関係は数字として積算できる段階ではなく、現在お示しする数字がない状況である。ストックは計画が出来て今年度の予算も3千万円弱といった実態の中で、全体の財源が限られており、どれだけ優先していくかという議論が必要になってくる。20億のうち5億という数字を見積もった。	
15		財政見直し	ストックに関して、むしろ20億円を入れていって、財源不足を明確にした方がよいと思う。市全体の財政に対する姿勢が変わってくる。市民にとっても同様だと思う。	ストックの20億円については、すべて長寿命化ということで修繕をしていった場合の前提であり、今後、施設の統廃合といった視点も踏まえながら、この辺りの数字は動きがあると捉えている。	
16		財政見直し	意見としてだが、ストックマネジメントは今後10年も、その先にも影響していくことなので、きちんとお金を使うべきだと思う。ストックマネジメントをちゃんと積み上げて財源不足を出すべきと考える。	—	

No	章	指摘項目	市議会意見	市回答	備考
17		財政見通し	財政調整基金について、4.5億円ずつ毎年取り崩すとのことだが、積み立てについてはどのような予想をしているのか。	財政調整基金の積み立てについては、法令に則り繰越金の2分の1を毎年度積み立てている。4.5億円を取り崩し、3.5億円を毎年度積み立て、財政調整基金の残高が毎年1億円減る計画内容になっている。	
18		財政見通し	下水道に関して、成木の下水道整備は合併処理浄化槽の整備で見積もられたのか。	平成24年から平成25年にかけて、成木事業区域の整備手法について再度検討するというで行っている。長期計画の財政見通しの数値については、合併処理浄化槽整備を想定した数字を出している。	
19		財政見通し	現状を見据えた場合には、合併処理浄化槽による面的な、市による整備が適切だと思う。下水道事業の説明に「全市水洗化の達成に努める」とあるが、国土交通省や下水道協会の用語では、水洗化というと公共下水道によるものを指しており、市の下水道事業に関する記載は公共下水道による全市水洗化が目標になっており、表現の見直しが必要ではないかと思うが。	水洗化の文言の中に、合併処理浄化槽であるかあるいは公共下水道であるかについては、水洗化を図るための手段としてそれぞれの手法が出てくる。確認をしてみたいと思うが全市水洗化の達成ということで、水洗化という意味で問題がなかろうかと思う。	
20	2章	循環型社会	小水力発電について、先週の西多摩新聞や、西の風新聞でも大きく報道されていたが、市内の小水力発電の市民によるプロジェクトが、わずかな水量で発電ができる優れた方法ということで表彰された。たくさんの河川のある青梅にとっては朗報だと思う。市でも取り入れていくという考えがあるという話があったので、小水力発電の導入ということを入れていただきたい。	青梅で一生懸命取り組んでいる小水力のプロジェクトがあることはよく知っている。表現の中で先ほども話したが、青梅は森林が多いということでバイオマスを表現している。青梅の地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入ということで小水力も十分に考えており、そういう表現の中に含まれている。	